

拝啓

本来の冬らしい寒さになりました。時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、第 30 回生殖・発生毒性学東京セミナーを別紙の要綱で開催する運びとなりました。今回は、下記のように 3 題のご講演により興味ある話題を提供していただきます。また、セミナー企画として、事務局から 30 回開催までの歩みの報告と宇佐見委員からホームページの解説があります。

#### 【講演】

1. 「生殖細胞の性の研究」から見えてきたこと - 卵巣中でも機能的精子は作られる -  
田中 実 先生 (基礎生物学研究所 生殖遺伝学研究室)  
「卵になるか、精子になるか - 生殖細胞の性決定研究から、配偶子形成における個体の性の新たな知見が見出されてきた。卵巣や精巣は配偶子形成にとってどのような意味を持つのか、あらためて考える機会を提供したい。」
2. 「配偶子形成に異常を呈するミュータントマウスの解析」  
国枝 哲夫 先生 (岡山大学大学院環境生命科学研究科 農学部動物遺伝学研究室)  
「本講演では、ENU 誘発突然変異により作成されたミュータントマウスを用いて、減数分裂、生殖細胞の分化、精子の形態形成等の精子形成過程に関わる遺伝子を同定し、その機能の解析を行った研究の成果について報告する。」
3. 「X 染色体不活性化を中心としたマウス胎生期化学物質曝露の出生後影響」  
熊本 隆之 先生 (奥羽大学薬学部)  
「X 染色体不活性化は発生期に雌雄の X 連鎖遺伝子量を補償する哺乳類共通の現象であるが、わずか 1 種類の遺伝子が脳や生殖等に根源的な遺伝子発現を制御、新たな毒性機序となるか胎仔期化学物質曝露実験より探った。」

---

生殖・発生毒性学東京セミナーは、12 名の実行委員が世話人として持ち回りで開催しています。

＜セミナー実行委員＞ ○：第30回担当委員

- |        |                      |
|--------|----------------------|
| ○清水 達也 | (株)イナリサーチ            |
| ○小林 健一 | (独)労働安全衛生総合研究所       |
| 石原 可奈  | 中外製薬(株) 安全性研究部       |
| 宇部 雅進  | 田辺三菱製薬(株) 安全性研究所     |
| 鷹野 正生  | (株)ボゾリサーチセンター        |
| 中島 幹夫  | 旭化成ファーマ(株) 安全性・動態研究部 |
| 星野 信人  | (株)LSIメディエンス         |
| 宇佐見 誠  | 国立医薬品食品衛生研究所         |
| 太田 亮   | (一財)食品薬品安全センター 秦野研究所 |
| 松岡 俊樹  | 第一三共(株) 安全性研究所       |
| 則武 健一  | (株)サンプラネット           |
| 名波 加奈  | (公財)食品農医薬品安全性評価センター  |

日時： 2016年3月4日（金） 13:10～17:00  
 会場： 「独立行政法人 国立オリンピック記念青少年総合センター」  
 センター棟1階、102室 （別添地図参照）  
 懇親会： カルチャー棟2階「レストラン とき」  
 会費（当日）： セミナー：1,500円（学生・大学院生 JTS 名誉・功労会員無料）  
 懇親会：一般3,500円、学生・大学院生1,000円

プログラム

- 
- 12:50～13:10 受け付け  
 13:10～13:15 開会のことば  
 進行 清水 達也（(株)イナリサーチ）  
 進行 小林 健一（独立行政法人労働安全衛生総合研究所）
1. 13:15～14:00 「「生殖細胞の性の研究」から見えてきたこと  
 - 卵巣中でも機能的精子は作られる -」  
 田中 実 先生（基礎生物学研究所 生殖遺伝学研究室）
2. 14:05～15:05 「配偶子形成に異常を呈するミュータントマウスの解析」  
 国枝 哲夫 先生（岡山大学大学院環境生命科学研究科  
 農学部動物遺伝学研究室）
- ～15:25 休憩
3. 15:30～16:10 「X染色体不活性化を中心としたマウス胎生期化学物質曝露の  
 出生後影響」  
 熊本 隆之 先生（奥羽大学薬学部）
- 【セミナー企画】
4. 16:15～16:30 「生殖・発生毒性学東京セミナー 30回のあゆみ」  
 奥田 裕計（日本バイオアッセイ研究センター）
5. 16:35～16:45 「生殖・発生毒性学東京セミナー HP  
<http://rdtoxts.wix.com/rdt-ts> の開設について」  
 宇佐見 誠（国立医薬品食品衛生研究所）
- ～16:50 閉会のことば  
 17:10～18:40 懇親会
- 

※セミナー・懇親会ともに、ノーネクタイのカジュアルな服装でご参加ください。

※セミナー終了後に懇親会を企画しています。会員相互の親睦を深めると共に情報交換の場としてご活用ください。皆様の多数のご参加をお待ちしています。

※企業や団体の参加者で、リーフレットの配布、資料等の展示がございましたらお申し出ください。半机分のスペースを準備いたします（無料）。

（事務局から）参加希望者は、3月1日（火）までに全員の氏名・所属・連絡先（住所、TEL、FAX、e-mail）をご記入の上 e-mail で事務局にお申込みください。学生の方はお申し出ください。なお、当日受付も行いますが、ハンドアウトを配付できない場合もありますのでご了承ください。

事務局 日本バイオアッセイ研究センター 神奈川県秦野市平沢 2445 TEL:0463-82-3911  
 奥田裕計 e-mail: h-okuda@jisha.or.jp

## 若手研究者フォーラム@第30回生殖・発生毒性学東京セミナー 募集要項

生殖・発生毒性学東京セミナーは、第30回を開催するにあたり、若手研究者に対して生殖・発生毒性学に関わる広く種々の情報を交換する場と機会が必要と考え、「若手研究者フォーラム」を発足しました。産官学の様々な立場からの意見や話題は若手研究者にとって将来の貴重な財産になると考えます。

「若手研究者フォーラム」は、研究室や教室単位のご応募を基本としますが、個人でのご応募も配慮します。質疑応答の時間を多く取ますので、考察や結論が確定していない内容でも構わないと考えています。多数のオーディエンスを前にしての口頭発表での経験や激励が今後の研究生活に活かされることを期待しています。従いまして、午後のセミナーへの参加希望者には、この若手フォーラムにもぜひご参加いただけるようお願いするとともに、多大なご声援と協力をお願いします。

日時：2016年3月4日（金）、午前9：30～11：30（予定）、会場使用8：30～

会場：（独）国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟1階102室

会費：無料。（発表された学生・大学院生は午後のセミナー・懇親会費も無料とします。）

発表：発表7～15分+質疑応答8～10分を基本とし、1研究室2～4題（40～60分）とします。司会・進行は指導教官等が担当してください。

応募：2016年1月15日（火）～2月12日（金）。学部学生・大学院生の場合は、指導教官が一括してご応募ください。

応募方法：生殖・発生毒性学東京セミナー事務局に e-mail、または HP「会員専用」→「発表申込」からご応募ください。

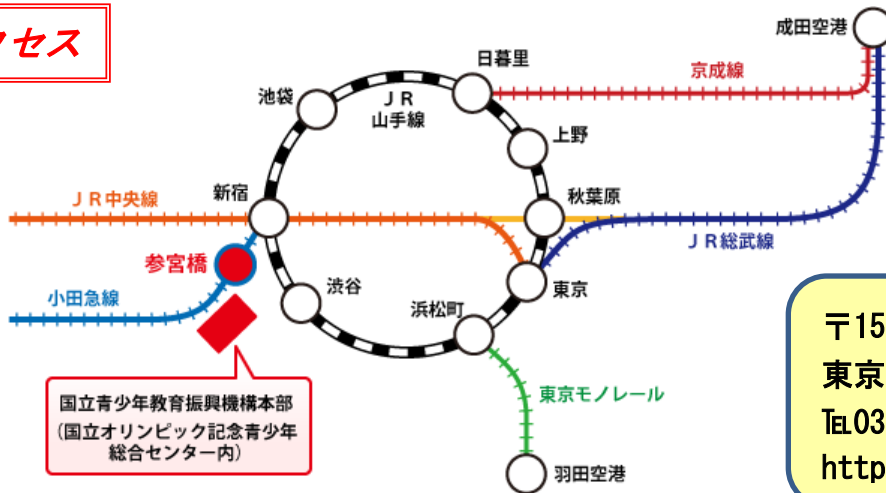
ご協力のお願：受付、会場の準備にご協力ください。

注意：ご応募が少ない場合には中止にさせていただくこともあります。

発表の内容が決定し、プログラムができあがり次第、会員の皆様には案内をさせていただきます（2月中旬予定）。また、開設まもない HP のお知らせにも掲示いたします。

生殖・発生毒性学東京セミナー 実行委員・事務局

## アクセス



国立青少年教育振興機構本部  
(国立オリンピック記念青少年総合センター内)

〒151-0052  
東京都渋谷神園町 3-1  
Tel.03-3469-2525  
<http://nyc.niye.go.jp>

### JR 東京駅から

JR 中央線 約 14 分 新宿駅乗り換え  
小田急線 各駅停車 約 3 分  
参宮橋駅 下車 徒歩約 7 分

### 小田急線

参宮橋駅下車 徒歩約 7 分

### 地下鉄千代田線

代々木公園駅下車  
(代々木公園方面 4 番出口) 徒歩約 10 分



国立青少年教育振興機構  
国立オリンピック記念青少年総合センター

参宮橋からの【歩道橋】を使った経路



参宮橋からの【横断歩道】を使った経路



懇親会：カルチャー棟 2 階

セミナー会場：  
センター棟 1 階、102 室

